

2 主要業種の動向

(基準年の生産ウェイト上位8業種の動向(全19業種のウェイト計10,000))

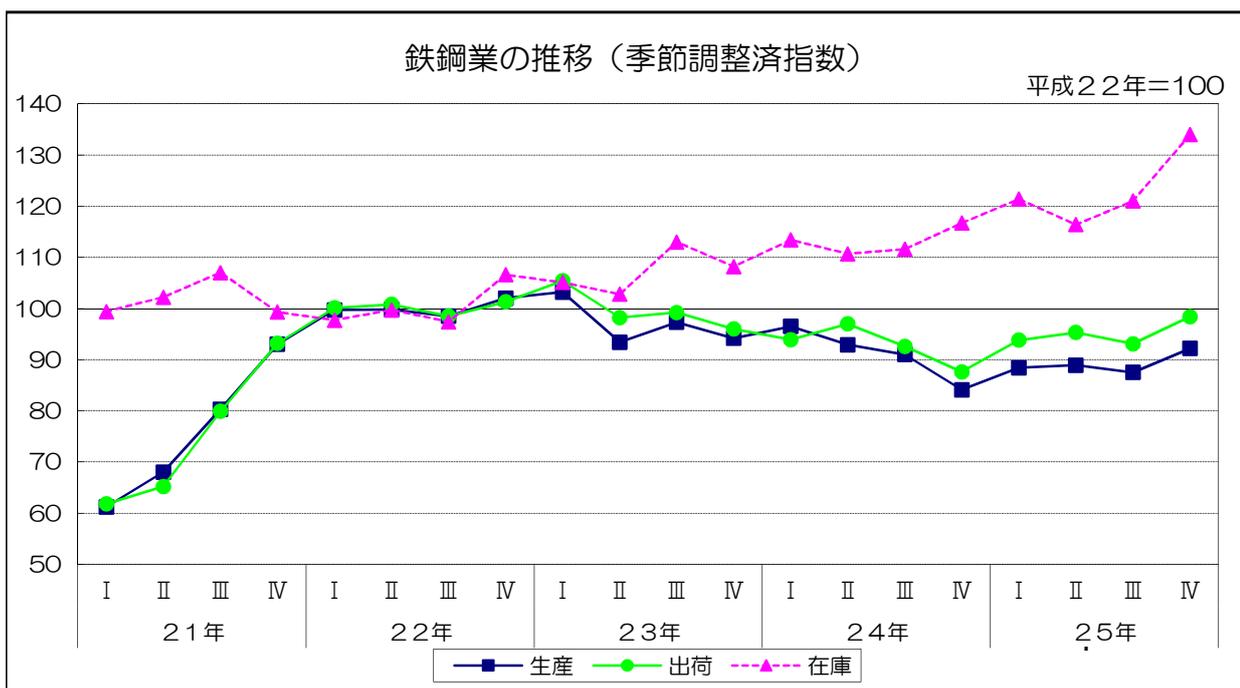
(1) 鉄鋼業

- ① 生産(付加価値額ウェイト770.9 生産19業種中4位)
25年の生産は89.1で、前年比2.1%減と3年連続の低下となった。
これは、鋼帯、軌条・外輪などは上昇したが、
亜鉛めっき鋼板、銑鉄铸件などが低下したことによる。
- ② 出荷(出荷額ウェイト1093.4 出荷19業種中3位)
25年の出荷は95.0で、同1.9%増と3年ぶりの増加となった。
これは、鋼板、亜鉛めっき鋼板などは低下したが、
軌条・外輪、鋼帯などが上昇したことによる。
- ③ 在庫(在庫額ウェイト1948.0 在庫19業種中1位)
25年の在庫は140.2で、同17.0%増と6年連続の増加となった。
これは、軌条・外輪、銑鉄などは低下したが、
鋼半製品などが上昇したことによる。

鉄鋼業の推移(年は原指数、四半期は季節調整済指数)

平成22年=100

	21年	22年	23年	24年	25年	25年			
						I	II	III	IV
生産	76.0	100.0	96.8	91.0	89.1	88.4	88.9	87.5	92.2
前期(年)比	▲27.6	31.6	▲3.2	▲6.0	▲2.1	5.1	0.6	▲1.6	5.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲7.0	▲4.3	▲3.8	8.3
出荷	75.0	100.0	99.4	93.2	95.0	93.8	95.3	93.1	98.4
前期(年)比	▲29.7	33.3	▲0.6	▲6.2	1.9	7.1	1.6	▲2.3	5.7
前年同期比	—	—	—	—	—	▲1.0	▲0.4	▲0.4	10.2
在庫	101.4	109.0	111.0	119.8	140.2	121.4	116.4	121.0	134.0
前期(年)比	1.0	7.5	1.8	7.9	17.0	4.0	▲4.1	4.0	10.7
前年同期比	—	—	—	—	—	8.8	3.4	7.0	17.0



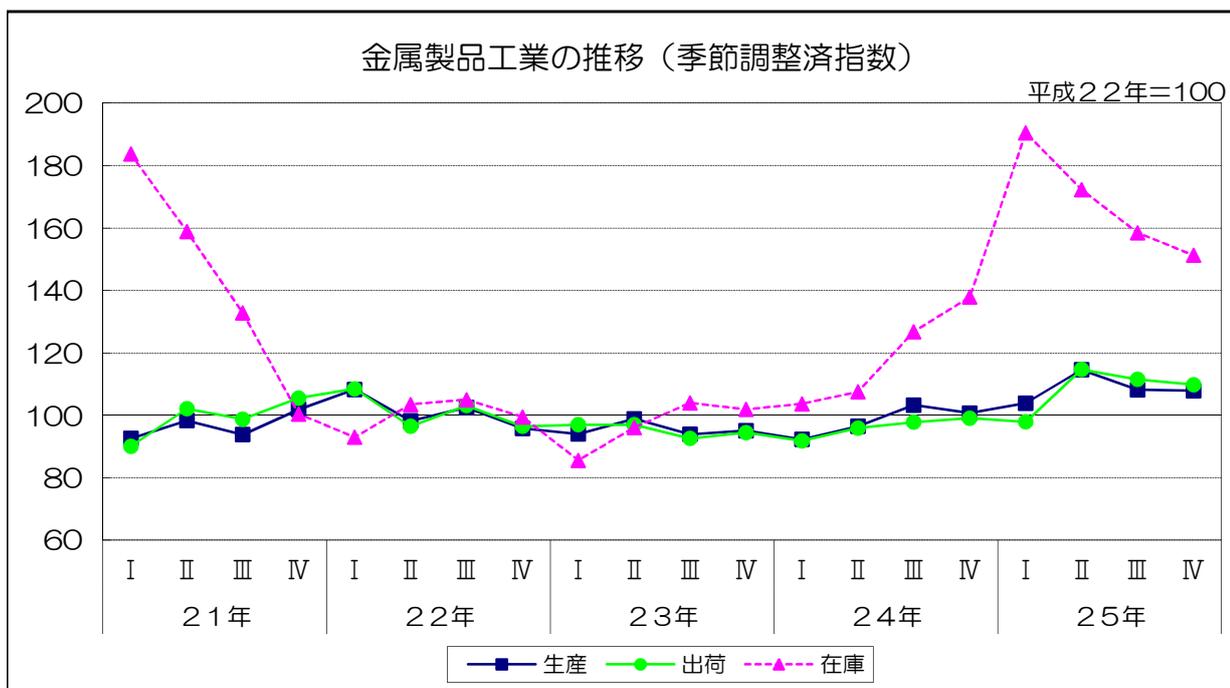
(2) 金属製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト588.7 生産19業種中6位）
25年の生産は108.6で、前年比8.2%増と2年連続の上昇となった。
これは、橋りょう、ガス湯沸器などは低下したが、
飲料用缶、鉄塔などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト459.1 出荷19業種中6位）
25年の出荷は108.5で、同10.5%増と2年連続の上昇となった。
これは、橋りょうなどは低下したが、
飲料用缶、鉄塔などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1073.3 在庫19業種中4位）
25年の在庫は130.4で、同3.7%増と3年連続の上昇となった。
これは、ガス湯沸器などは低下したが、
飲料用缶などが上昇したことによる。

金属製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	21年	22年	23年	24年	25年	平成22年=100			
						I	II	III	IV
生産	95.1	100.0	95.0	100.4	108.6	103.9	114.6	108.2	107.9
前期(年)比	▲22.6	5.2	▲5.0	5.7	8.2	3.2	10.3	▲5.6	▲0.3
前年同期比	—	—	—	—	—	3.5	18.7	3.5	7.8
出荷	97.8	100.0	94.9	98.2	108.5	97.9	114.7	111.5	109.8
前期(年)比	▲18.8	2.2	▲5.1	3.5	10.5	▲1.2	17.2	▲2.8	▲1.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲3.2	21.8	12.6	11.5
在庫	90.1	89.7	92.6	125.8	130.4	190.5	172.3	158.5	151.3
前期(年)比	▲39.3	▲0.4	3.2	35.9	3.7	38.1	▲9.6	▲8.0	▲4.5
前年同期比	—	—	—	—	—	95.7	62.2	22.0	3.7



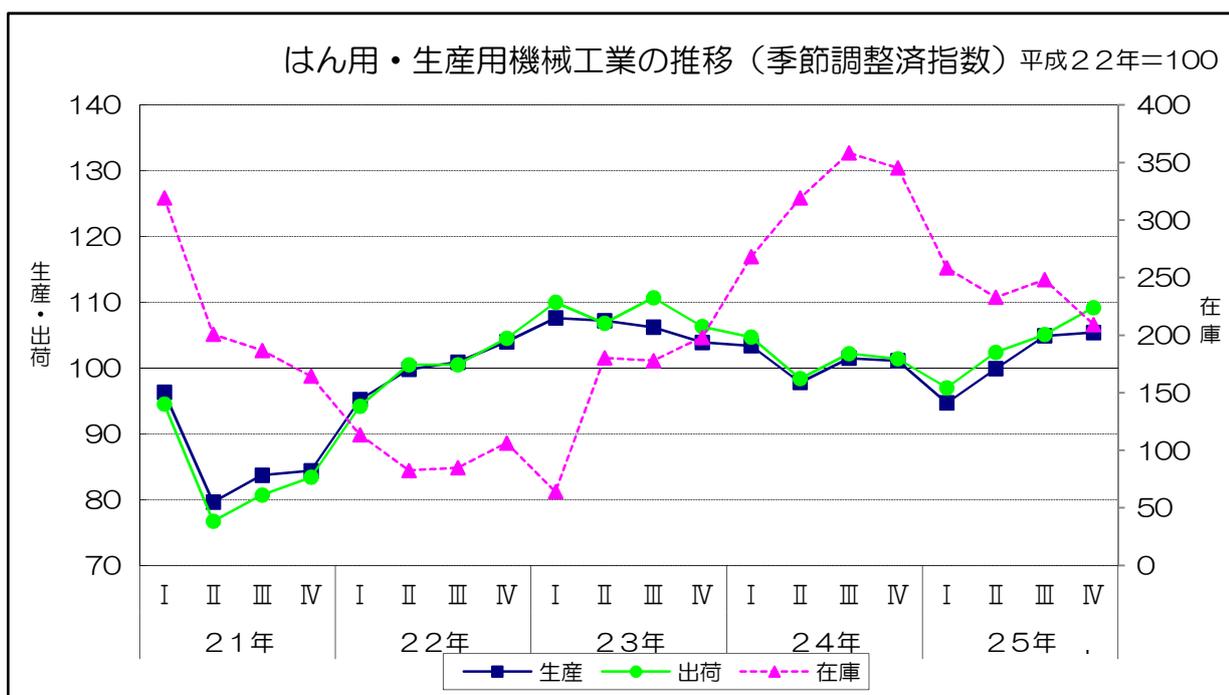
(3) はん用・生産用機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト776.0 生産19業種中3位）
25年の生産は100.9で、前年比0.2%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、鉄鋼用ロール、クレーンなどは低下したが、
金型や数値制御放電加工機などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト670.8 出荷19業種中4位）
25年の出荷は103.2で、同1.7%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、鉄鋼用ロール、産業用ロボット部品・付帯装置などは低下したが、
バルブ・コックや金型などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト667.7 在庫19業種中6位）
25年の在庫は208.2で、同37.0%減と3年ぶりの低下となった。
これは、ファンコイルユニット、ポンプなどは上昇したが、
シヨベル系掘削機などが低下したことによる。

はん用・生産用機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	21年	22年	23年	24年	25年	25年			
						I	II	III	IV
生産	86.5	100.0	106.1	100.7	100.9	94.7	99.9	104.9	105.4
前期(年)比	▲32.3	15.6	6.1	▲5.1	0.2	▲6.3	5.5	5.0	0.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲9.1	1.2	4.9	4.7
出荷	84.3	100.0	108.4	101.5	103.2	97.0	102.4	105.1	109.2
前期(年)比	▲34.7	18.6	8.4	▲6.4	1.7	▲4.3	5.6	2.6	3.9
前年同期比	—	—	—	—	—	▲7.7	3.6	4.5	7.5
在庫	165.8	105.8	193.2	330.6	208.2	258.5	232.9	248.2	209.2
前期(年)比	▲61.9	▲36.2	82.6	71.1	▲37.0	▲25.1	▲9.9	6.6	▲15.7
前年同期比	—	—	—	—	—	▲8.1	▲27.3	▲25.3	▲37.0



(4) 電子部品・デバイス工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト345.0 生産19業種中8位）
25年の生産は61.3で、前年比27.4%減と2年ぶりの低下となった。
これは、混成集積回路、整流素子などは上昇したが、
トランジスタ、固定コンデンサなどが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト379.4 出荷19業種中8位）
25年の出荷は84.2で、同16.7%減と2年ぶりの低下となった。
これは、混成集積回路、整流素子などは上昇したが、
トランジスタ、計数回路などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト118.5 在庫19業種中16位）
25年の在庫は314.3で、同124.7%増と2年ぶりの増加となった。
これは、トランジスタ、整流素子は低下したが、
線形回路が上昇したことによる。

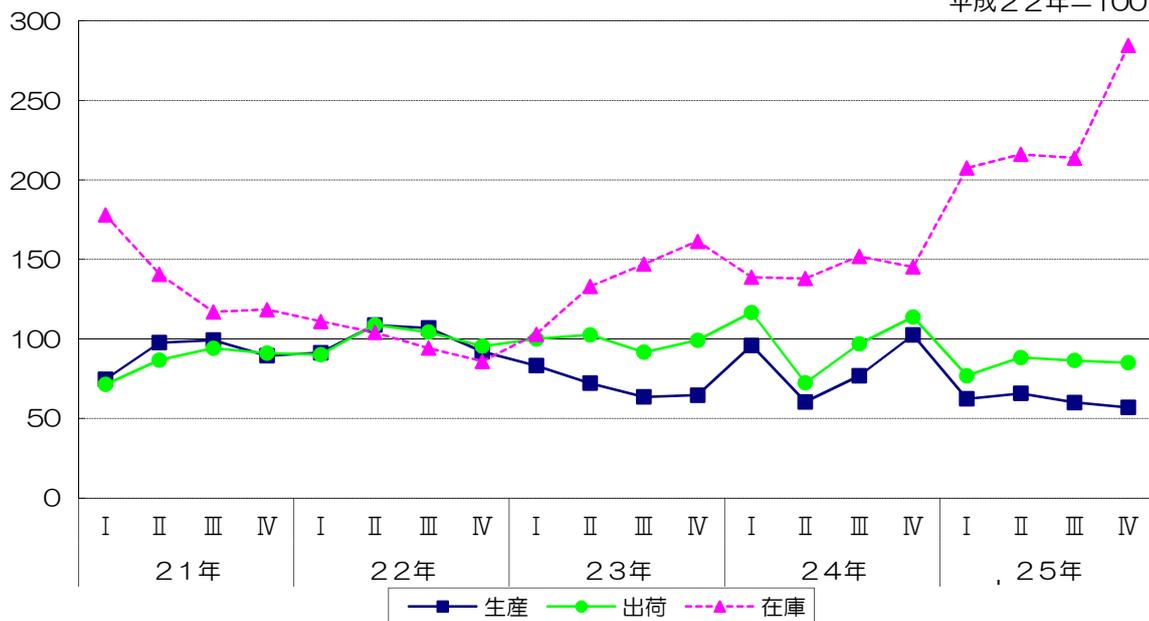
電子・デバイス工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	21年	22年	23年	24年	25年	25年			
						I	II	III	IV
生産	91.2	100.0	70.7	84.4	61.3	62.4	65.8	60.1	57.0
前期(年)比	▲51.2	9.6	▲29.3	19.4	▲27.4	▲39.2	5.4	▲8.7	▲5.2
前年同期比	-	-	-	-	-	▲31.2	3.9	▲23.6	▲41.3
出荷	87.0	100.0	98.3	101.1	84.2	77.0	88.4	86.5	85.1
前期(年)比	▲53.5	14.9	▲1.7	2.8	▲16.7	▲32.4	14.8	▲2.1	▲1.6
前年同期比	-	-	-	-	-	▲32.0	22.3	▲12.1	▲24.7
在庫	110.6	81.6	155.0	139.9	314.3	207.6	216.2	213.9	284.7
前期(年)比	▲53.9	▲26.2	90.0	▲9.7	124.7	42.9	4.1	▲1.1	33.1
前年同期比	-	-	-	-	-	63.3	66.5	31.5	124.7

電子部品・デバイス工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(5) 輸送機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト3112.3 生産19業種中1位）
25年の生産は119.6で、前年比5.6%減と4年ぶりの低下となった。
これは、エンジン、駆動伝導及び操縦装置部品は上昇したが、
四輪自動車などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト2946.4 出荷19業種中1位）
25年の出荷は120.8で、同5.6%減と4年ぶりの低下となった。
これは、エンジン、駆動伝導及び操縦装置部品は上昇したが、
四輪自動車などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト440.5 在庫19業種中8位）
25年の在庫は450.4で、同5.5%増と4年連続の上昇となった。
これは、四輪自動車などが上昇したことによる。

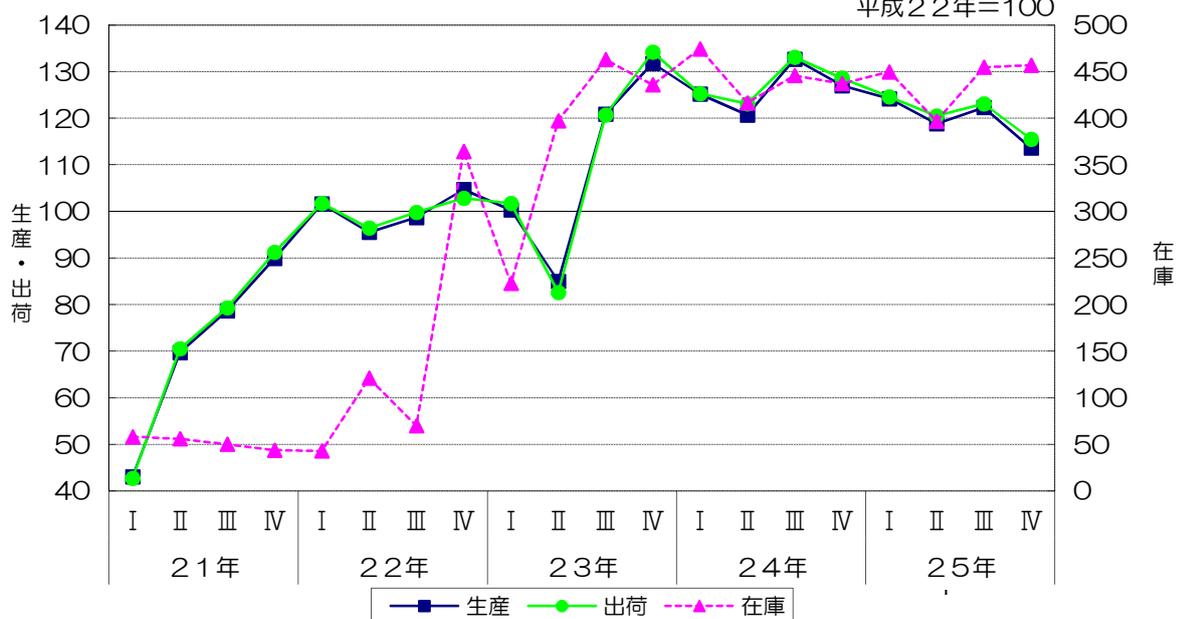
輸送機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	21年	22年	23年	24年	25年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	70.8	100.0	109.7	126.7	119.6	124.2	118.8	122.3	113.6
前期(年)比	▲32.1	41.2	9.7	15.5	▲5.6	▲2.2	▲4.3	2.9	▲7.1
前年同期比	-	-	-	-	-	▲4.2	▲0.7	▲5.1	▲11.8
出荷	71.2	100.0	110.2	127.9	120.8	124.6	120.5	123.1	115.5
前期(年)比	▲31.9	40.4	10.2	16.1	▲5.6	▲3.1	▲3.3	2.2	▲6.2
前年同期比	-	-	-	-	-	▲4.2	▲0.6	▲5.3	▲11.4
在庫	41.1	351.2	424.5	427.1	450.4	449.7	396.9	454.8	456.9
前期(年)比	▲21.6	754.5	20.9	0.6	5.5	2.9	▲11.7	14.6	0.5
前年同期比	-	-	-	-	-	▲0.3	▲8.8	3.6	5.5

輸送機械工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(6) 窯業・土石製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト381.9 生産19業種中7位）
25年の生産は111.4で、前年比7.1%増と2年ぶりの増加となった。
これは、耐火れんが、生石灰などは低下したが、
ほうろう鉄器や生コンクリートなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト427.9 出荷19業種中7位）
25年の出荷は110.0で、同4.5%増と4年連続の上昇となった。
これは、衛生用陶磁器、耐火れんがなどは低下したが、
ほうろう鉄器や生コンクリートなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト807.9 在庫19業種中5位）
25年の在庫は32.1で、同68.9%減と2年連続の低下となった。
これは、耐火れんが、不定型耐火物は上昇したが、
ほうろう鉄器などが低下したことによる。

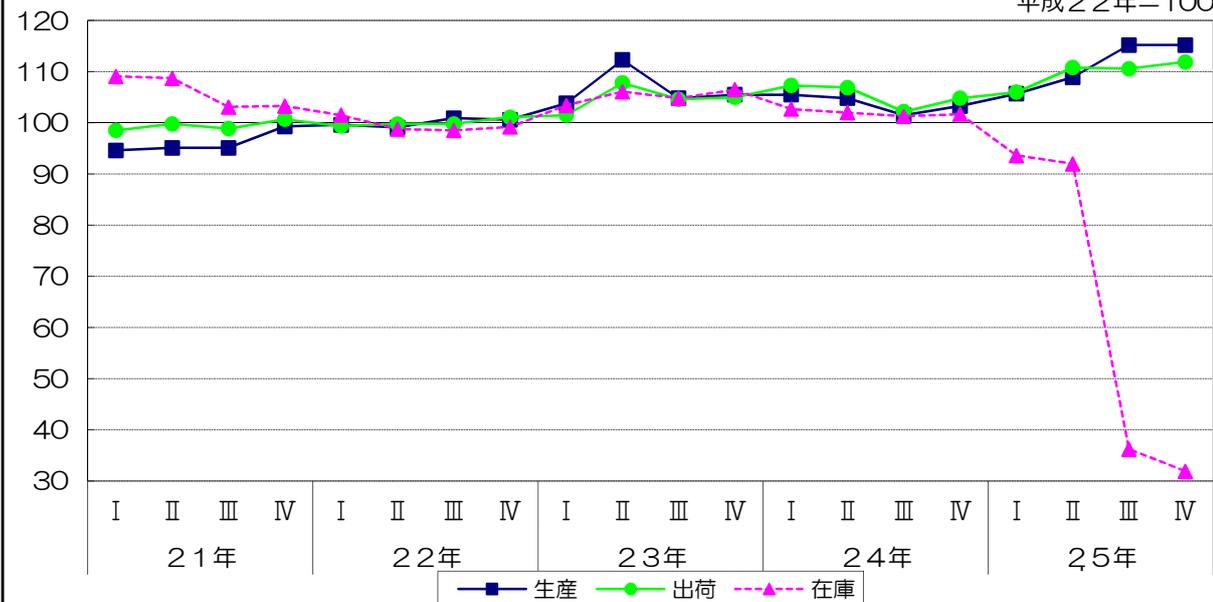
窯業・土石製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	21年	22年	23年	24年	25年	25年			
						I	II	III	IV
生産	95.9	100.0	106.5	104.0	111.4	105.7	108.9	115.2	115.2
前期(年)比	▲14.8	4.3	6.5	▲2.3	7.1	2.3	3.0	5.8	0.0
前年同期比	-	-	-	-	-	▲0.8	3.9	14.1	11.5
出荷	99.4	100.0	104.6	105.3	110.0	106.0	110.8	110.6	111.9
前期(年)比	▲13.3	0.6	4.6	0.7	4.5	1.1	4.5	▲0.2	1.2
前年同期比	-	-	-	-	-	▲1.8	4.5	8.8	6.4
在庫	104.7	100.5	108.0	103.2	32.1	93.6	92.0	36.2	31.9
前期(年)比	▲6.9	▲4.0	7.5	▲4.4	▲68.9	▲8.0	▲1.7	▲60.7	▲11.9
前年同期比	-	-	-	-	-	0.3	▲9.2	▲68.9	▲68.9

窯業・土石製品工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(7) 化学工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト631.9 生産19業種中5位）
25年の生産は95.9で、前年比0.3%減と2年ぶりの低下となった。
これは、ポリカーボネート、医薬品などは上昇したが、
ビスフェノールA、カーボンブラックなどが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト535.1 出荷19業種中5位）
25年の出荷は100.3で、同0.5%減と2年ぶりの低下となった。
これは、医薬品、複合肥料などは上昇したが、
ビスフェノールA、カーボンブラックなどが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1337.6 在庫19業種中3位）
25年の在庫は88.2で、同19.4%減と2年連続の低下となった。
これは、塗料、合成染料などは上昇したが、
触媒、ビスフェノールAなどが低下したことによる。

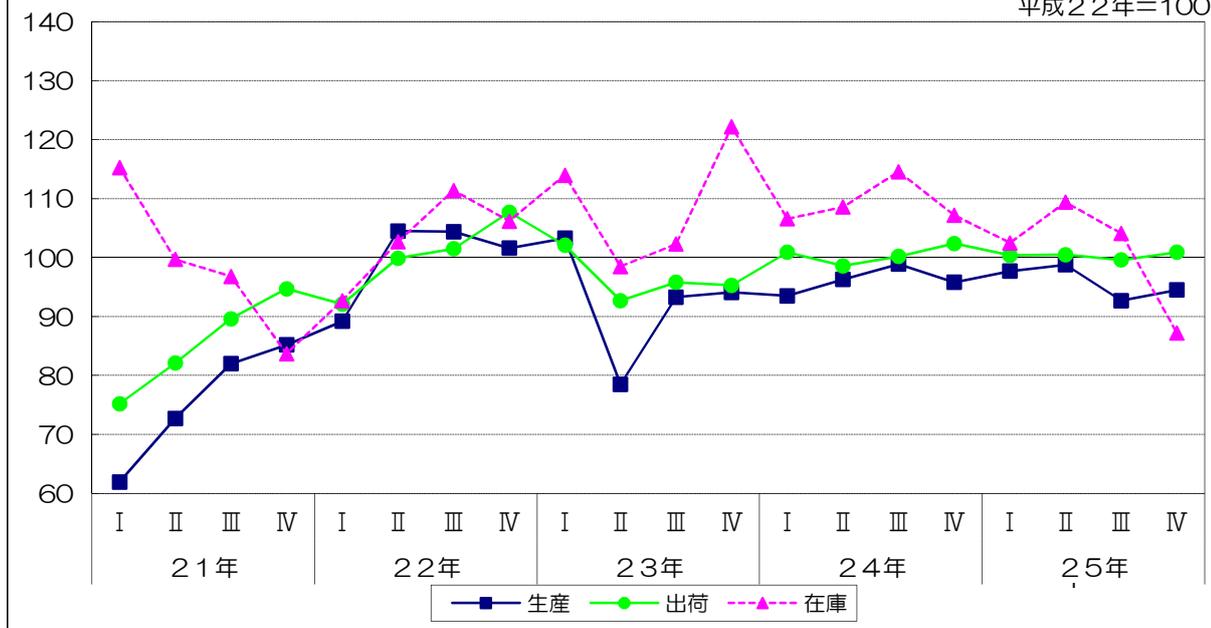
化学工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	21年	22年	23年	24年	25年	25年			
						I	II	III	IV
生産	75.4	100.0	92.4	96.2	95.9	97.7	98.8	92.7	94.5
前期(年)比	▲18.8	32.6	▲7.6	4.1	▲0.3	2.0	1.1	▲6.2	1.9
前年同期比	-	-	-	-	-	4.3	4.4	▲6.9	▲2.6
出荷	85.2	100.0	96.3	100.8	100.3	100.4	100.5	99.6	100.9
前期(年)比	▲13.1	17.4	▲3.7	4.7	▲0.5	▲2.0	0.1	▲0.9	1.3
前年同期比	-	-	-	-	-	▲1.5	1.4	▲0.7	▲0.9
在庫	84.1	107.4	124.3	109.4	88.2	102.5	109.4	104.1	87.2
前期(年)比	▲39.5	27.7	15.7	▲12.0	▲19.4	▲4.4	6.7	▲4.8	▲16.2
前年同期比	-	-	-	-	-	▲5.2	3.0	▲7.9	▲19.4

化学工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(8) 食料品・たばこ工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト1723.2 生産19業種中2位）
25年の生産は96.5で、前年比4.6%減と2年ぶりの低下となった。
これは、清涼飲料、のりなどは上昇したが、
枝肉、固型カレーなどが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1856.0 出荷19業種中2位）
25年の出荷は97.9で、同7.1%減と2年ぶりの低下となった。
これは、清涼飲料、のりなどは上昇したが、
枝肉、ハム・ソーセージなどが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1586.4 在庫19業種中2位）
25年の在庫は74.0で、同2.1%減と2年ぶりの低下となった。
これは、植物油、清涼飲料などは上昇したが、
焼酎、ビールなどが低下したことによる。

食料品・たばこ工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	21年	22年	23年	24年	25年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	100.6	100.0	98.3	101.2	96.5	99.9	97.7	96.7	92.6
前期(年)比	0.4	▲0.6	▲1.7	3.0	▲4.6	▲1.9	▲2.2	▲1.0	▲4.2
前年同期比	-	-	-	-	-	▲5.2	▲3.4	▲0.9	▲8.9
出荷	100.3	100.0	97.0	105.4	97.9	102.1	99.6	98.9	91.6
前期(年)比	1.1	▲0.3	▲3.0	8.7	▲7.1	▲3.7	▲2.4	▲0.7	▲7.4
前年同期比	-	-	-	-	-	▲5.0	▲7.5	▲1.5	▲13.5
在庫	93.3	90.5	74.6	75.6	74.0	80.9	80.9	82.4	79.8
前期(年)比	▲9.9	▲3.0	▲17.6	1.3	▲2.1	▲1.7	0.0	1.9	▲3.2
前年同期比	-	-	-	-	-	▲5.6	▲5.7	3.0	▲2.1

食料品・たばこ工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100

